



令和7年度自己研鑽のための研修講座 受講者の声

前号に引き続き、今年度総合教育センターが実施している研修から、受講者の声をご紹介します。今号では自己研鑽のための研修講座の中からご紹介します。

スタッフ・マネジメント力向上研修講座



若手を支える2つの考え方「経験軸」「ピープル軸」は今まで自分になかった視点でした。自身の「成長に繋がった経験」やその時に支えになったコト・ヒトを振り返ることで、学年チームを中心とした校内の各組織の中で、いま自分が置かれている立場や「どう在るべきか」を改めて考え直すことができました。皆で誰かを一様に支えることではなく、一人ひとりがそれぞれの経験や立場に基づいて、バランスよく自身の引き出しを開けていくことが大切だと思います。また、「聴いている」「いつでも聴く」「なんでも聴く」ことを姿勢態度で示すだけでも、相手を支えたり、主体的な解決に向かったりすることもある。若手に限らず、各同僚間や生徒との関わりにおいても勘所だと感じました。

ファシリテーションスキル向上研修講座



目的や目標を意識しておくことはファシリテーターとしても参加者としても重要だと感じました。目標や目的に合った知識を持つておくこともゴールに導くためには必要だと感じました。発言しない人がいたとしても参加者にとって実りある時間だったと思わせられるような環境を作ることも重要だと感じました。

ファシリテーターの役割は重要でした。話し合いの場の雰囲気がとても会議の内容を左右するのだとわかりました。意見に可否評価することは、その後の意見の方向性も偏ってしまいます。クラスや行事の決め事の場面で、本日の方法を活用し、安心して意見が出せるような場作りをしていきたいと考えます。

面談等で相手の話を聞く時には、付箋を使い相手に見える形でメモを取ることがいいやり方の一つだというのが意外でした。また、場面によってうまく付箋を活用し、それぞれが意見を発言しやすい手法を会議等に導入していきたいです。



学校管理職実践力向上研修講座Ⅲ～学校における働き方改革～

勤務時間が多いことは課題ではあるものの、ただ縮減するだけでは意味がなく、「なんのための仕事なのか」「やりがいのある仕事なのか」というゴールを見据えた取組が大切だと感じた。そのためには、「両手が空く」時間が大切であり、働き方の見直しが、それぞれの教職員に必要なのだと思う。

働き方改革を推進する中で、「やめる、へらす、かえる」は検討していたが、今後はその中に「充実させる」を視点として入れる必要があること。ネガティブな思考になりがちだが、ポジティブな視点を入れることで、同じことでもワクワク感をもって検討することができるということがわかった。



管理職対象の講座も充実しています

授業づくりや授業改善のヒントとなる教育資料がたくさんあります

総合教育センターは、「学校支援」の拠点として、授業づくりや授業改善に役立つ資料をたくさん揃えています。今号では、当センター5階の学校支援室にある資料を中心に紹介します。

教科書

学校支援室は、「神奈川県教科書センター」としての役割もあります。小・中学校、高等学校で現在使用されている教科書のほか、特別支援学校・特別支援学級で教科用図書として採択されている一般図書や☆本※を閲覧することができます。

所属校で使用されている教科書と他の教科書を見比べることで、授業づくりのアイデアが浮かぶかもしれません。

※☆本：文部科学省著作の知的障害のある児童・生徒のための教科書



各学校等の研究冊子等

県内の公立学校が作成した授業研究に関する冊子のほか、県教育委員会等教育機関が作成した研究冊子等の閲覧ができます。指導や支援の工夫がまとめられていたり、学習指導案が掲載されていたりしますので、授業づくりや授業改善の参考となります。



- 教科書や研究冊子等の閲覧を希望される方は、学校支援室のカウンターへお声掛けください。
- 学校支援室の利用時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00（土日祝日、年末年始は除く）

「かながわ授業のタネ」もご活用ください！

「かながわ授業のタネ」は、授業を中心とする本県の教育活動の充実と教職員の意欲を喚起することを目的として、授業のアイデアなどをA5版一枚にまとめたものです。

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の様々な教科に関する授業づくりの「タネ」がまとめられています。他教科にも応用できる「タネ」がたくさんありますので、ぜひご活用ください。

「授業のタネ」は当センターの1階エントランスホール、2・3・5階のエレベーターホールに配架しておりますので、研修等でお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。興味のあるものをお持ち帰りいただき、授業づくりの際に参考にしてみたいはいかがでしょうか。

なお、「授業のタネ」は当センターウェブページでも閲覧できます。



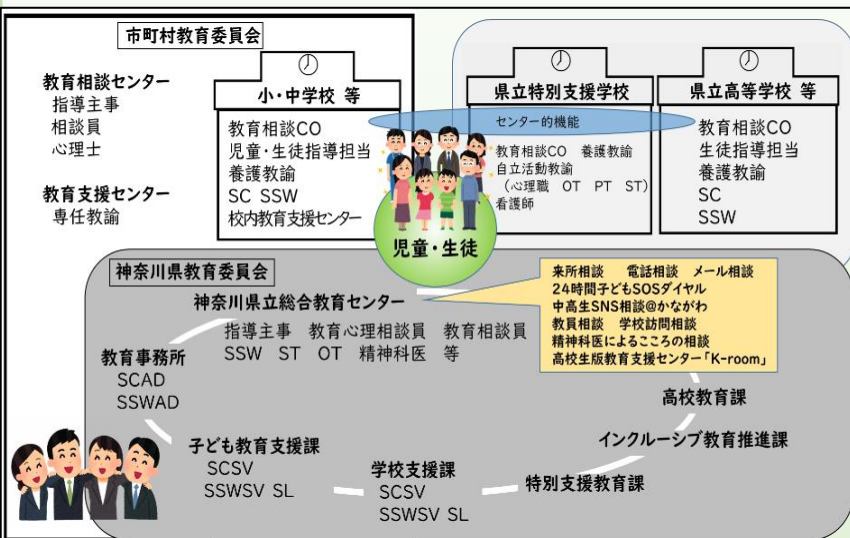
〔主なタイトル〕

- 小学校(図画工作科):創造力を育成する造形遊びの授業～「題材構想シート」の活用～
- 中学校(外国語):「やり取りの能力」向上のために
- 高等学校(生物):生成AIを用いた学習のアイデア
- 特別支援学校(自立活動):今日の調子チェックシートで自己理解を深めよう!

「かながわ授業のタネ」のウェブページはこちらから☞



令和6年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査の結果と教育相談



文部科学省より「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」が公表されたこととともない、「令和6年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査」の結果も公開されました。令和6年度は、すべての校種において、暴力行為、いじめが増加し、不登校は小・中学校で増加、高等学校で減少しました。チーム学校として支援体制を構築し、魅力ある学校づくりをすすめていくことが重要です。左の図のように、連携や相談先として子どもたちを支える資源があります。これらの資源を子どもたちのニーズに応じてコーディネートしていきましょう。

参考:令和6年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査の結果について

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/ijime-bouryoku/kangamonkou.html>

かながわの教育相談体制